学校と家庭と地域を結ぶ
香深井小学校・学校だより

カフカイ

第 210 号
発行：香深井小学校
発行日：H26．9．4
発行責任者：本間正博
TEL　86－1926

校風 思いやり

8・24大雨災害を教訓に 安心・安全な学校づくりをすすめます

校長　本間 正博

五〇年に一度という豪雨から一週間が過ぎました。土砂崩れにより二人の方が亡くなり、元地地区への道路が寸断されるなど、島のあちこちで大変な被害が起こりました。今もなお、礼文町あげての復旧作業が懸命に続けられています。早期の全面復旧を願うばかりです。

今回の自然災害を経験して、あらためて地域の中の学校の役割を考えさせられました。香深井川の増水により、約七〇人の地域住民の方が学校に自主避難しました。役場の支援を受けながら、地域と学校が力を合わせて「命を守る行動」ができたのです。このように、緊急時には学校が地域の防災拠点としての役割を果たし、「頼れる学校」であることの重要性を痛感しました。そのために、普段から地域の方が気軽に足を運べる学校、地域とつながっている学校になることが求められます。

これらの教訓を大切に、教職員一同、学校が子ども・地域住民の安心・安全の拠点になるよういっそう努力していきます。引き続き、香小への応援をよろしくお願いします。

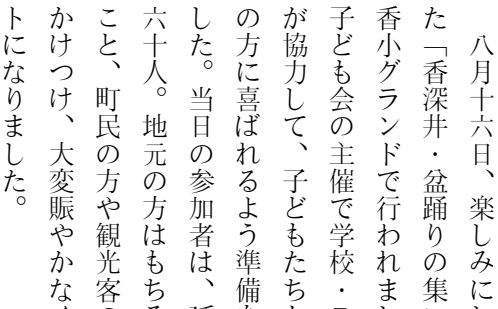
元気な笑顔で2学期を迎えました！

二学期が始まり、二週間が経ちました。「盆踊りの集い」から始業式、そして豪雨災害を経て、先週は教育大生二名が元気に実習をしていきました。激動の二週間でしたが、子どもたちが元気にがんばっていたことが何よりもうれしいことです。

始業式では、子どもたちに三つのことを話しました。一つは、自分と友だちの命を大切にすること。二つめは、いろいろな勉強に挑戦すること。三つめは、挨拶をがんばることです。このことを大切に、二学期もがんばります。

楽しい夏の思い出・・・「香深井・盆踊りの集い」

八月十六日、楽しみにしていた「香深井・盆踊りの集い」が香小グランドで行われました。子ども会の主催で学校・ＰＴＡが協力して、子どもたちと地域の方に喜ばれるよう準備をしました。当日の参加者は、延べ百六十人。地元の方はもちろんのこと、町民の方や観光客の方もかけつけ、大変賑やかなイベントになりました。



子ども盆踊りから始まり、大人は礼文音頭、子どもも大人も大きな踊りの輪ができました。その後は、食べ物、飲み物の提供で盛り上がりました。藤田自治会長さんの計らいで用意された電球の灯り。十三回目の「地域の集い」をあたたかく照らしていました。

ありがとうございました

盆踊りの準備にあたって、香深井子ども会、PTA、小野工務店さん、藤田自治会長さんにご協力を頂きました。ありがとうございました。

9月の行事予定

1日（月）全校朝会　水泳授業③
　　前期委員会　臨時PTA総会
2日（火）ALT
3日（水）水泳授業（最終回）
4日（木）陸上練習（集合学習）
5日（金）エキノコックス症検査
7日（日）陸上記録会（午前）
　　PTA昼食会

8日（月）振替休業
9日（火）全校朝会
11日（木）授業参観
15日（月）敬老の日
16日（火）全校朝会　児童総会　ALT
17日（水）定例職員会議
18日（木）香中生職場体験（～19日）
22日（月）全校朝会　学力検査
23日（火）秋分の日
26日（金）全道複式研究プレ大会
28日（日）礼宝園まつり
29日（月）全校朝会　日本習字
30日（火）ALT

8・29 神崎小との合同炊事を実施！

８月２９日（金）、今年１回目の神崎小学校との集合学習として、「合同炊事」を香小で行いました。当初は、久種湖キャンプ場での実施予定でしたが、大雨災害から１週間も経っていないということで、香小の校舎を使っての合同炊事にしました。

あらかじめ３つのグループにわけ、メニューも相談していたので、高学年のリーダーを中心に、豚汁づくり班と火おこし・飯ごう班に分かれ準備をしました。おいしい豚汁とおにぎりを食べてから、体育館で子どもたちが考えた遊びを１時間ほどやりました。子どもたち１５人、大人１５人の大所帯でのレクになりました。